

## 第18回北浦史談会との交流会

### 25日(木)に「たざわこ芸術村ゆぽぽ」で開催

史跡見学は、秋田県唯一の国宝がある「水(すい)神社」ほか

前回の会報でもご案内しましたが、仙北市(旧田沢湖町)の北浦史談会との交歓会を両市町の教育長さん方を来賓に迎えて7月25日(木)に開催します。

恒例のこの行事も今回で18回を数えます。交歓会では両史談会から各1名が「研究発表」を行います。今年のテーマは「関所」。当史談会からは 関 敬一副会長がく“橋場御番所“から見えてくるもの——秋田往来、人と物の動き>と題して発表します。

研究発表会に先立って行われる「歴史探訪」は、今回は〔仙北市、大仙市「豊川水(すい)神社」の国宝「線刻千手観音等鏡像」を訪ねて〕と題して行われます。この「先刻千手観音等鏡像(せんこくせんじゅかんのんとうきょうぞう・写真右)は秋田県唯一の国宝に指定されている文化財です。鏡は延宝5(1676)年に神社近くの水路工事の現場で発見されました。藤原時代上期の仏教美術の技術の高さを示す貴重なものということです。



**今回の見学は特例中の特例！ 北浦史談会の尽力で実現**

御神体は毎年8月17日に1時間だけ一般公開されることから大勢の参拝客でにぎわい混雑するそうです。鏡のレプリカ(複製)は観光客などのために旧中仙町内の施設で展示されていますが、北浦史談会役員の方々が「滴石史談会のために…」と神社に折衝して、神社側が「公開のための祭事を行う」という条件のもとに今回の実物公開に至ったもので極めて異例のことだということ。北浦史談会の皆様の熱意に大いに感謝申し上げます。

**会員の皆様も、どうぞこの機会をお見逃しなく。**

**交歓会への参加希望の申し込み締め切りは17日(水)です。**

## 当会の「戸沢サミットin高萩 参加事業」に補助金20万円

**町のふるさと文化振興基金の助成対象に決定**

当会が申請していた標記サミットへの参加費用に対する「雫石町ふるさと文化振興基金」の助成金20万円が、このほど開かれた申請内容審査会において出席全委員の賛同で認められ、交付が決定しました。

当会では、10月26日(土)に茨城県高萩市で開催される「戸沢サミットin高萩」に会員多数で参加するべく、その費用(参加30名、大型バス貸切・宿泊・研修費及び「雫石と戸沢氏のゆかり」紹介のDVD制作費など・総額約772,000円)に対して20万円の助成を申請していたものです。この助成により参加者の交通費やの負担が少し軽減され参加しやすくなります。 <右上の写真は高萩市発行の絵葉書から戸沢政盛公の座像> 参加事業の概要と希望申し込み方法等は8月下旬に会員にお知らせする予定です。



## 7月の「歴史サロン」のお知らせ

今月の歴史サロンを 17日(水)夜7時から 中央公民館 で開きます。  
今回の話題は「**田沢湖とクニマス**」で、東 幹夫会員が話題を提供します。



江戸時代から淡水漁業がおこなわれていた田沢湖。日本一の深い湖にしか生息することのなかったクニマス(国鱒)は、昭和初期まで田沢湖特産の高級魚でした。

このクニマスは、それまでのさまざまな資料に——大正14(1925)年、田沢湖だ



けの新種と学術発表されたクニマスも、戦時下の発電所建設に際しての玉川毒水の流入によって死滅し、もはや絵や写真、そして標本の中にしか残っていないものとなった。——

と紹介されていましたが、2010年12月14日に発表された<クニマスが実は生きていた!>とのニュースは日本中をかけ巡りました。

絶滅したはずのクニマスが、この年、京都大学研究チームの調査により、山梨県の西湖で現存個体群の生息が確認されたのです。70年ぶりの朗報に懸賞金まで出して探していた旧田沢湖町内も大いに沸きました。

今回の歴史サロンでは、生物学者でもある東 幹夫会員から「クニマスの生態やそれを取りまく歴史」などについてお話をさせていただきます。(資料も用意します。)



折から、7月25日(木)には旧田沢湖町の北浦史談会との交歓会を控えて、「田沢湖」についてのホットな情報が得られること請け合いです。どうぞご期待ください。

当日は、午後7時から8時30分頃までの開催です。ご自分用のお茶などはどうぞご持参ください。



なお、8月の「歴史サロン」は21日(水)に開催予定です。

話題は、大正10年頃に実際あった<幻の“雫石駅～陸中川尻間鉄道敷設計画”>です。

### 一戸町「御所野遺跡」を訪ねる郷土史教室を開催

今年最初の郷土史教室(町教委と共催)「御所野遺跡を訪ねて」を6月25日(火)に開催。会員12名、町民13名が参加しました。御所野遺跡は県内有数の規模を誇る縄文時代の遺跡で、特に「土屋根」形式の竪穴式住居が有名です。一戸町教委のご協力による文化財調査員の案内で<御所野縄文博物館>を見学して先人たちの知恵の数々を学んだ後、午後は地元の旧家である朴館(ほうのきだて)家を見学。150坪という萱葺き住宅の広さに驚き、昔の“山持ち豪農”の力に感心してきました。ほかに「鳥越観音」「奥州街道の小繫番所」も見学でき有意義な郷土史教室となりました。

### トピックス 2題

#### #1 しずくいし少年少女歴史教室始まる

4年目となる「少年少女歴史教室」が6月22日から始まりました。小学生4、中学生4の8名が受講。支援員も10名の厚い布陣で11月までの教室をサポートします。

#### #2 在京町友会で上野秀子会員が「昔語り」

会の事業として雫石の昔話の録音に取り組んでいる上野秀子会員が6月22日に開かれた「在京町友会総会」で古里の民話「野菊二度咲く」など二題を語りました。出席者たちは「懐かしい…」を連発、早くも「昔話集のテープができたらずひ欲しい」という人も。町友会さんの特別の計らいで実現した今回の演出。おかげ様で町出身者の間で<滴石史談会>の名を挙げた一日となりました。



